

# TANNOY

# 取扱説明書

## Autograph Mini/GR

### TANNOY LOUD SPEAKER

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み  
ください。また、お読みになったあとは、いつで  
も見られるところに保証書と一緒に大切に保管し  
てください。



# タンノイヒストリー

1926年のロンドンで、ガイ・R・ファウンテンは新しいタイプの電気整流器を発明しました。この整流器は特別な電解質溶液で作られた2つの異なる金属：タンタロム (Tantalum) と鉛合金 (alloy of Lead) で出来ていました。この発明が成功し、ガイ・R・ファウンテンはタンタロム (Tantalum) と合金 (alloy) を足して短くした TANNOY という名前の会社を創立し、このブランドネームはすぐに世界的に有名になりました。

DC電源のマグネットを搭載したコイル可動式スピーカー開発がタンノイのスピーカーテクノロジー分野への参入のきっかけとなりました。そして、1933年にはディスクリット2ウェイ方式のスピーカーシステムを開発し、タンノイはPA分野で世界的に有名となり、続く数十年の間、無数の名門施設に採用されていくことになりました。オックスフォード英語大辞典には、TANNOYという言葉が一般的なPAシステムを示す単語として採用されています。

有名なデュアル・コンセントリック (同軸2ウェイ) のドライバーの動作原理はガイ・R・ファウンテンの指示に基づいて、1940年代末に生み出され、開発されました。デュアル・コンセントリックの原理は、その極めてユニークなポイント・ソース (点音源) 分散特性によって、現在でも熱的な音楽愛好家、レコーディング設備、放送スタジオなど世界中で高く評価されています。高域用のユニットが低域用ユニットの後ろ側に同軸上にマウントされている複雑な設計によって低い周波数と高い周波数が1点を音源として完全に統合されるのです。このデザインによって、デュアル・コンセントリック・ドライバーは極めて独自性の高い音楽再生性能を実現しているのです。

そして1954年には「コンサートホールを我が家」という壮大なテーマに挑み、タンノイ不朽の名作とうたわれた「Autograph」※が登場し、現在でも熱的な愛好家に高く評価されています。

※ *Autograph* という型名は、正面の銘板に、設計者であるガイ・R・ファウンテンの署名 (オートグラフ) が刻まれていることに由来します。

# 特長

**タンノイ社で最も小型の新設計 10センチ (4インチ) 同軸2ウェイ・ユニットを搭載。**

高周波も低周波も同じ軸上から放射される同軸ユニットは音像の分解能と定位感に優れ、より自然な音場を再現します。

- ・ 同軸2ウェイ・ユニットのウーハー部は軽量化と剛性を両立させ、過度特性を向上させる為、ペーパーコーンにはいくつかの異なるファイバーが混入された高圧縮加工のマルチファイバー・ペーパーコーンを採用。質感も一段と向上し、低音レスポンスに優れた再生を実現しています。
- ・ 同軸上に設置されたツイーター部は、ドーム型チタニウムダイアフラム／高磁束密度マグネットにより、倍音の豊かな質感に優れた再生音が得られます。また振動板からの音がタンノイ独自設計の超精密成型のテクノ・ウェーブガイド (TW) によるエクスポネンシャルホーンにより正確な球面波が作りだされ、滑らかな高域再生に加え、再生帯域全般にわたり音場空間 (奥行き感) 豊かな再生を実現します。

**ウォールナット材を使用した贅沢なエンクロージャー、そしてフロントグリルは「Prestige GR」の意匠を纏った美しいリアルウッド仕上げ**

高剛性高密度積層合板と、厳しい品質管理の元に手作業で研磨されたウォールナットの無垢材と突き板で仕上げられています。全質量 4.4kg の堅牢なエンクロージャーは不要振動や共振を抑え、パワーを上げてもエンクロージャーの共振が極めて少なく、パワフルな重低音再生に効果を発揮します。

音楽的な表現力を一段と高める高剛性積層合板とウォールナットのリアルウッドで仕上げられたエンクロージャーとフロントグリルは、「Autograph」と同じブラウンとベージュの糸を織ったサラネットと相まって、時代を超えた風格とクラシカルモダンなデザインをダウンサイジングの中に見事に表現しています。

**高音質部品を採用。**

クロスオーバー回路には低損失インダクターに加えオーディオグレードのタンノイオリジナルコンデンサーを採用しました。

## 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。



### 警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



強制

アンプなどに接続する際は、接続する機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。  
また、接続は指定のコードを使用する。



強制

接続したアンプの電源を入れる前には、音量を最小にする。  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



### 注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、または振動の多い場所に置かない。  
落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で、使用しない。  
スピーカーユニットが発熱し、火災や損傷の原因となることがあります。

## 使用上の注意

- エンクロージャーや前面グリル部に硬い物を当てないでください。傷が付く、またはスピーカーユニットが損傷する恐れがあります。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、表面を傷めることがありますので避けてください。
- 本機に使用しているスピーカーユニットは強力なマグネット（磁石）を使用しています。  
そのため、本機の上に磁気記録のカード、テープ、ディスク類、その他磁気の影響を受けやすい物を置くと磁気データの消去や破損の可能性がありますので、絶対に置かないでください。
- アンプからの入力は適正な範囲でお聴きください。過大な入力は、スピーカーユニットを破損する恐れがあります。また、許容入力以下であっても、クリッピングノイズなどの多い信号はスピーカーユニットに悪影響を与えます。アンプ側でも音が歪まないようにご注意ください。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。  
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。  
当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷する、または人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## 設置上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具のそばなど、高温になる場所に設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- 加湿器のそばなど、湿度が高い場所に設置しないでください。また、油煙が当たる場所には設置しないでください。損傷の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動する場所などには設置しないでください。落下したり倒れたりして、けがや損傷の原因になります。
- 周囲に反射や共振を起こす物が無いことが理想です。ガラス戸などがある場合、共振を起こすことがあります。共振がおきないようにしっかり固定するか、厚めのカーテンなどで吸音させてください。また、平行した壁面では定在波が起きやすいため、家具を配置して平行を崩したり、厚めのカーテンなどで吸音させてください。
- スピーカーシステムと聴取位置の間には、物を置かないでください。物があると直接音が遮られ、音質が変わる原因となります。

## 前面グリルの着脱について

本機の前面グリルはマグネットでキャビネットに固定されており、取り外すことができます。

- グリルの着脱は、爪などで傷が付かないよう慎重に行ってください。

## 接続

### スピーカーケーブルについて

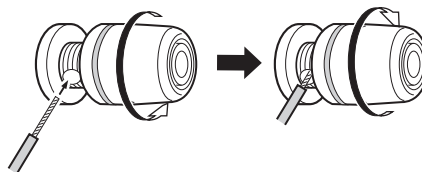
- 接続には、市販のスピーカー専用ケーブルをお使いください。シールドされた平行ケーブルがおすすめです。同軸ケーブルや、リッツ線を使用したケーブルは、キャパシタンスが大きいため音質に影響を与えるおそれがあります。
- スピーカーケーブルはできるだけ短いものをご用意ください。ケーブルは長くなるほど抵抗値が増加し、ダンピング特性が劣化します。また、インダクタンスやキャパシタンスも増加し、高域の音質が劣化します。
- 左右のスピーカーケーブルは、同じ長さの物を使用してください。

### 接続のしかた

- 接続の前に、必ずアンプの電源を切り、音量を絞ってください。

### より線の場合

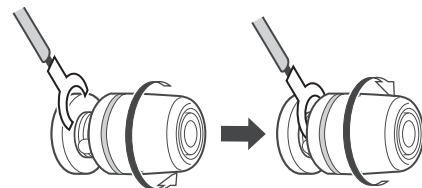
ターミナルの奥の穴に芯線を差し込み、つまみを締めます。



### Y ラグの場合

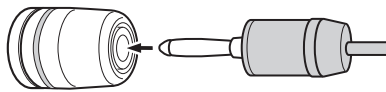
ターミナルの差し込み口に端末を差し込み、つまみを締めます。

- Y ラグ端子で接続する場合は、内径 8mm のものをお使いください。



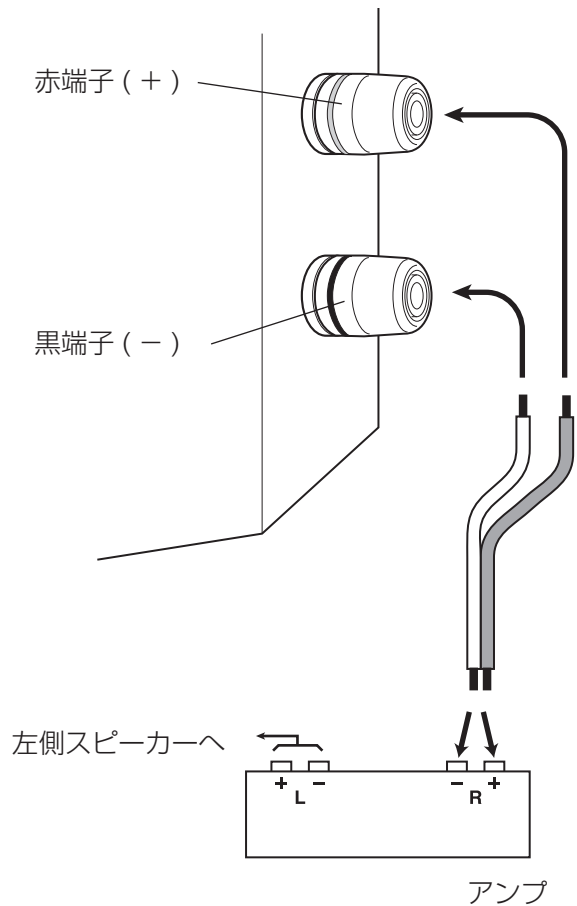
## バナナプラグによる接続

- 接続の際にバナナプラグを使用すると、プラグを差し込むだけで簡単に接続できます。  
スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグを入力ターミナルに差し込みます。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



## アンプと接続する

本機背面の端子と、アンプのスピーカー端子を接続します。  
+端子同士、-端子同士を、スピーカーケーブルで接続してください。



## 位相チェックについて

---

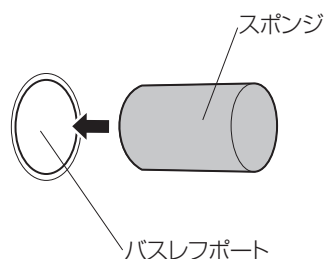
- 左右のスピーカーの極性 (+・-) が一致していないと、位相が合わないために、正しいステレオ再生音が得られません。位相チェックは、低音がよく入っているプログラムソースを左右のスピーカーからモノラルで出して聴き比べます。
- 位相が合っている場合は、低音が豊かによく出て、音像が左右のスピーカーの中央に定位します。位相が合っていない場合は、低音が出ず音像がぼやけて定位しません。このような場合は、スピーカーとアンプ間の接続の極性 (+・-) を確認してください。一方だけ、極性を逆に接続しなおすと正しい位相になります。

## 低音の調節

---

小さな部屋でご使用の場合など、低音が鳴りすぎて耳障りなときは、スポンジを使って低音を調節することができます。

背面のバスレフポートにスポンジを差し込んでお好みで調節してください。



## お手入れ

---

- エンクロージャーの仕上げは、天然木です。長いご使用の間に、照明などの影響で、表面は暗く落ち着いた色のある色艶に変化します。
- エンクロージャーの木部は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、強く絞った柔らかい布などで水拭きしてください。一般の床用ワックスや化学ぞうきん、またはベンジンやシンナー系の液体などでは、絶対に拭かないでください。エンクロージャー表面の変色やひび割れなどの原因になることがあります。
- グリルに付いたほこりは、洋服用のブラシなどで取ってください。

## 仕様

エンクロージャー型式	バスレフ方式 (リア)
使用ユニット	4 インチ同軸 2 ウェイ (高磁束密度マグネット / 100mm ファイバーパルプ コーン型ウーハー / 19mm チタニウムドーム ツイーター)
能率	85dB (W/m, 1kHz)
連続許容入力 (RMS)	50W
最大許容入力 (瞬間)	200W
入力インピーダンス	8Ω
クロスオーバー周波数	2kHz
周波数特性 (-10dB, +3dB)	60Hz ~ 54kHz
エンクロージャー仕上げ	ウォールナット無垢 / 突き板仕上げ
エンクロージャー容積	3.45 ℓ
外形寸法 (W×H×D)	209mm × 356mm × 156mm
質量	4.4kg/ 台
付属品	取扱説明書 × 1、 保証書 × 1

- 仕様およびデータは英国タンノイ社の発表によるものです。外形寸法は弊社の計測値です。
- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

## 保証とアフターサービス

### 保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、販売店が所定事項を記入してお渡しいたします。「販売店名・お買い上げ日」など、記載事項をお確かめの上、お受け取りください。また、保証内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。

### 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

### 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談、およびご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。詳細につきましては、保証書をご覧ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

### ご連絡いただきたい内容

型名：タンノイスピーカー オートグラフ ミニ ジーアール Autograph Mini / GR  
お買い上げ日：  
販売店名：  
お客様のご連絡先  
故障の状況（できるだけ詳しく）

### 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

### この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-701

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

- 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00です。

(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。